



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム

上場取引所 東

コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 行 辰哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸 TEL 03-6825-4086

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け) オンライン開催 < Zoom使用 >

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,371	2.5	528	999.6	504	532.4	370	1,531.5
2023年3月期第2四半期	11,667	12.0	48	90.5	79	82.5	22	95.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 370百万円 (1,511.2%) 2023年3月期第2四半期 23百万円 (95.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.12	
2023年3月期第2四半期	1.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,192	2,662	23.6
2023年3月期	11,051	2,459	22.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,644百万円 2023年3月期 2,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		7.00		10.00	17.00
2024年3月期(予想)		7.00		10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,170	2.3	850	48.2	790	23.1	510	34.8	30.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	16,757,700 株	2023年3月期	16,757,700 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	505 株	2023年3月期	505 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	16,757,195 株	2023年3月期2Q	16,727,093 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだこともあり、経済活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型変異株による感染再拡大、資源・エネルギー価格の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション・ビジネス」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)F I Sソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、本サービスを「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション・ビジネス」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング・ビジネス」を提供しております。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大による経済活動の制限等が再度発生した場合は、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において情報通信機器の入荷、「ドキュメントソリューション・ビジネス」において各種セミナーやイベントに関する印刷物、「コンサルティング・ビジネス」においてはショッピングモール併設の保険店舗の集客等への影響が考えられます。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が113億71百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。これは主に「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において、個人を対象としたサービスの利用件数の減少によるものでありますが、一方利益面では、「ユーティリティ・ビジネス」において燃料価格の低下に伴い原価が縮小された事により、営業利益が5億28百万円（前年同四半期比999.6%増）、経常利益が5億4百万円（前年同四半期比532.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億70百万円（前年同四半期比1,531.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。個人を対象としたサービスの利用件数の減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億87百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は6億20百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。使用量の増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は38億22百万円（前年同四半期比4%増）となりました。併せて燃料価格の低下に伴い原価が縮小された事により、セグメント利益は3億61百万円（前年同四半期はセグメント損失3億67百万円）となりました。

《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。大口顧客並びに新規商材の販売計画の遅れにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億47百万円（前年同四半期比17.2%減）、セグメント損失は26百万円（前年同四半期はセグメント利益47百万円）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。保険サービス及びセキュリティサービスともに販売計画の遅れにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億13百万円（前年同四半期比2%減）となりましたが、保険サービスの経費の圧縮が計画通りに進んだ事により、セグメント利益は60百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は111億92百万円となり、前連結会計年度末比1億40百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加(32百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(3億82百万円)、未収入金の増加(86百万円)及び投資その他の資産のその他の増加(4億11百万円)によるものであります。

負債の残高は85億29百万円となり、前連結会計年度末比62百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(5億23百万円)、短期借入金の増加(3億72百万円)、未払金の増加(48百万円)及び未払法人税等の増加(66百万円)によるものであります。

非支配株主持分の残高は18百万円となりました。また、純資産の残高は26億62百万円となり、前連結会計年度末比2億3百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、10億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果獲得した資金は、5億51百万円(前年同四半期は1億61百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億74百万円、減価償却費1億39百万円、売上債権及び契約資産の減少額3億77百万円及び仕入債務の減少額5億23百万円などによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、7億23百万円(前年同四半期は1億97百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8百万円、無形固定資産の取得による支出3億3百万円及び敷金及び保証金の差入による支出4億10百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果獲得した資金は、2億4百万円(前年同四半期は74百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増額3億72百万円及び配当金の支払額1億67百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,040,243	1,073,049
受取手形、売掛金及び契約資産	4,213,104	3,830,860
商品及び製品	64,442	53,670
仕掛品	24,463	42,139
原材料及び貯蔵品	125,703	76,212
未収入金	1,789,195	1,876,063
前払費用	745,095	683,207
その他	124,060	130,956
貸倒引当金	△76,453	△95,415
流動資産合計	8,049,853	7,670,744
固定資産		
有形固定資産	106,835	163,894
無形固定資産		
のれん	262,958	233,333
その他	803,812	913,427
無形固定資産合計	1,066,770	1,146,760
投資その他の資産		
長期前払費用	653,035	621,967
破産更生債権等	2,210,572	2,215,581
その他	1,010,823	1,422,566
貸倒引当金	△2,046,068	△2,049,051
投資その他の資産合計	1,828,363	2,211,065
固定資産合計	3,001,969	3,521,720
資産合計	11,051,823	11,192,464
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,062,167	2,539,057
短期借入金	1,728,000	2,100,000
未払金	2,721,921	2,770,482
未払法人税等	142,010	208,136
賞与引当金	131,589	122,557
役員賞与引当金	53,083	45,952
その他	511,407	505,322
流動負債合計	8,350,181	8,291,509
固定負債		
退職給付に係る負債	214,818	211,432
その他	27,049	26,718
固定負債合計	241,867	238,151
負債合計	8,592,048	8,529,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,660	553,660
資本剰余金	53,660	53,660
利益剰余金	1,833,864	2,036,954
自己株式	△183	△183
株主資本合計	2,441,002	2,644,092
非支配株主持分	18,772	18,711
純資産合計	2,459,774	2,662,803
負債純資産合計	11,051,823	11,192,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,667,481	11,371,397
売上原価	9,323,275	8,467,895
売上総利益	2,344,206	2,903,501
販売費及び一般管理費	2,296,105	2,374,587
営業利益	48,101	528,914
営業外収益		
受取利息	1	1
貸倒引当金戻入額	12,649	—
違約金収入	24,493	—
その他	3,609	1,663
営業外収益合計	40,754	1,663
営業外費用		
支払利息	8,413	6,900
貸倒引当金繰入額	—	808
長期前払費用除却損	—	17,941
その他	717	745
営業外費用合計	9,130	26,396
経常利益	79,725	504,182
特別利益		
資産除去債務消滅益	—	13,735
移転補償金	—	57,047
特別利益合計	—	70,783
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	79,725	574,966
法人税、住民税及び事業税	28,872	192,137
法人税等調整額	27,851	12,227
法人税等合計	56,724	204,364
四半期純利益	23,001	370,601
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	281	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,719	370,661

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	23,001	370,601
四半期包括利益	23,001	370,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,719	370,661
非支配株主に係る四半期包括利益	281	△60

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	79,725	574,966
減価償却費	118,590	139,936
株式報酬費用	1,346	2,243
のれん償却額	30,423	29,625
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123,053	21,945
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,692	△9,032
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△69,716	△7,131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,297	△3,385
受取利息及び受取配当金	△22	△17
支払利息	8,413	6,900
固定資産除却損	0	0
違約金収入	△24,493	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△122,384	377,235
棚卸資産の増減額(△は増加)	102,906	42,586
未収入金の増減額(△は増加)	△85,990	△31,086
前払費用の増減額(△は増加)	△17,695	32,552
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,212	24,239
長期前払費用の増減額(△は増加)	57,998	30,079
仕入債務の増減額(△は減少)	547,491	△523,110
未払金の増減額(△は減少)	△87,663	50,357
契約負債の増減額(△は減少)	3,690	△20,333
資産除去債務消滅益	—	△13,735
移転補償金	—	△57,047
長期前払費用除却損	—	17,941
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,688	34,082
その他	△82,642	△48,093
小計	304,427	671,719
利息及び配当金の受取額	22	17
利息の支払額	△8,423	△7,138
法人税等の支払額	△201,038	△126,010
違約金の受取額	66,205	13,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,194	551,658

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,868	△8,899
無形固定資産の取得による支出	△180,576	△303,657
敷金及び保証金の差入による支出	△109	△410,938
敷金及び保証金の回収による収入	102	718
その他	—	△340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,453	△723,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	122,000	372,000
リース債務の返済による支出	—	△330
長期借入金の返済による支出	△30,000	—
配当金の支払額	△166,566	△167,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,566	204,265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△110,824	32,806
現金及び現金同等物の期首残高	1,299,588	1,040,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,188,763	1,073,049

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	5,786,334	3,675,355	661,550	1,544,241	11,667,481
外部顧客への売上高	5,786,334	3,675,355	661,550	1,544,241	11,667,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,519	—	51,192	1,300	83,012
計	5,816,854	3,675,355	712,742	1,545,541	11,750,493
セグメント利益又は 損失(△)	650,677	△367,522	47,235	58,556	388,947

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	388,947
セグメント間取引消去	87
全社費用(注)	△340,933
四半期連結損益計算書の営業利益	48,101

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	5,487,814	3,822,008	547,663	1,513,911	11,371,397
外部顧客への売上高	5,487,814	3,822,008	547,663	1,513,911	11,371,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,950	—	54,463	164	66,577
計	5,499,764	3,822,008	602,126	1,514,075	11,437,975
セグメント利益又は 損失(△)	620,143	361,709	△26,999	60,411	1,015,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,015,265
セグメント間取引消去	540
全社費用(注)	△486,891
四半期連結損益計算書の営業利益	528,914

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。